

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名：第3次産業活動指数(10月)
～10-12月期は好調なスタート～

発表日：12月22日(木)
(No. J-189)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 徳永香奈
TEL：03-5221-4549

(単位：%)

		第3次産業活動指数										
		前期比	前年比	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療、福祉	サービス業
04	1-3月	0.0	2.4	1.8	▲3.0	▲0.5	▲0.1	1.0	▲0.2	▲0.6	1.0	▲0.2
	4-6月	1.6	2.5	1.6	3.3	0.7	0.5	2.4	1.6	0.5	0.7	3.0
	7-9月	▲0.2	2.5	0.2	▲3.4	0.5	0.1	▲1.9	0.1	▲0.8	0.9	0.8
	10-12月	0.6	2.0	▲2.4	3.7	▲0.1	▲0.1	0.6	0.6	▲0.1	0.2	1.5
05	1-3月	1.4	2.2	4.2	▲2.1	0.2	1.6	1.8	▲0.3	3.0	1.0	2.3
	4-6月	0.0	1.8	▲0.9	1.3	1.3	0.0	▲1.0	1.1	▲0.7	▲0.5	▲0.1
	7-9月	0.3	2.2	▲0.8	0.3	▲0.1	▲0.6	3.2	0.6	▲0.8	0.3	0.7
	10-12月	0.6	2.0	▲2.4	3.7	▲0.1	▲0.1	0.6	0.6	▲0.1	0.2	1.5
04	1月	2.0	2.5	2.5	▲4.1	0.8	3.4	3.0	0.2	▲2.5	2.2	2.5
	2月	▲3.1	2.7	▲1.9	▲0.6	▲3.0	▲3.6	▲3.3	▲2.8	0.2	▲3.6	▲4.0
	3月	1.6	2.1	1.5	0.2	2.6	▲0.6	4.6	3.1	1.0	4.2	0.6
	4月	2.0	3.4	▲0.1	2.1	0.2	3.2	1.7	0.4	▲0.2	▲0.6	4.4
	5月	▲1.0	1.0	1.6	▲1.0	▲0.5	▲2.0	▲1.4	0.2	0.5	0.1	▲0.7
	6月	0.6	3.0	0.8	5.7	0.6	1.1	▲0.8	0.3	▲0.9	▲0.6	0.1
	7月	▲0.3	3.4	0.1	▲9.3	1.3	0.9	▲1.7	▲0.2	1.2	0.6	0.4
	8月	0.2	2.6	▲2.0	4.9	▲1.6	▲1.0	1.1	0.1	▲3.1	1.0	0.2
	9月	0.0	1.6	1.3	▲0.4	0.2	▲0.5	▲0.1	▲0.1	1.8	▲0.3	1.6
	10月	0.3	0.5	▲1.4	2.4	0.4	1.2	0.1	▲0.2	▲0.7	▲0.4	▲1.1
	11月	0.3	3.0	▲1.6	▲1.4	0.3	▲0.7	0.8	1.0	▲2.1	0.9	1.9
	12月	0.1	2.4	▲0.6	2.4	▲0.8	0.0	▲1.0	0.3	5.7	▲0.4	0.7
05	1月	2.4	3.1	3.6	▲3.1	0.6	4.6	2.9	▲0.3	0.1	1.9	1.9
	2月	▲1.2	1.5	2.3	1.1	▲1.1	▲2.7	▲1.0	▲0.3	▲0.8	▲2.0	▲0.7
	3月	▲0.9	2.0	▲0.2	▲2.6	2.3	▲2.9	▲0.2	▲1.2	1.3	1.5	▲0.7
	4月	1.7	1.7	▲0.6	1.8	0.5	4.3	▲0.2	1.4	▲0.7	▲0.5	1.2
	5月	▲1.5	1.8	▲2.8	▲1.3	▲1.4	▲2.2	▲0.6	1.0	▲0.7	▲0.3	▲1.8
	6月	0.9	1.9	2.7	5.5	1.9	0.8	0.1	▲0.2	▲0.4	▲0.5	2.0
	7月	▲0.7	1.2	▲5.3	▲4.7	▲0.8	▲0.6	0.3	▲0.5	▲0.6	0.3	▲0.4
	8月	1.6	3.2	5.7	1.7	0.5	1.7	3.6	1.8	▲0.5	1.1	0.9
	9月	▲0.8	2.1	0.6	▲0.7	▲0.6	▲2.6	2.4	▲0.9	1.5	▲1.2	▲0.5
	10月	1.2	3.0	▲1.5	3.7	0.0	1.7	0.1	1.1	▲0.3	0.1	0.7

(出所)経済産業省「第3次産業活動指数」

○ 第3次産業活動指数は前月比+1.2%と2ヵ月ぶりの上昇

10月の第3次産業活動指数は前月比+1.2%と市場予想(コンセンサス+0.7%、レンジ▲0.3~+1.3%)を上振れる2ヶ月ぶりの上昇となった。内訳をみると、卸・小売業(同+1.7%)、情報通信業(同+3.7%)、サービス業(同+0.7%)等が上昇に寄与する一方、電気・ガス・水道業(同▲1.5%)、飲食店・宿泊業(同▲0.3%)等が低下に寄与した。卸・小売業(寄与度+0.4ポイント)については、前月に気温が高めに推移して秋冬物衣料品が伸び悩んだことからの反動増が影響している。また、前月に続き、株式市場の活況を背景に証券業が同+6.3%(寄与度+0.1ポイント)と押し上げに寄与していることも注目される。先行きも雇用所得環境の改善を背景に、個人消費の底堅い推移が続くと予想されることから、第3次産業活動指数の緩やかな上昇傾向は持続する見込みだ。

○ 全産業活動指数も前月比+0.9%と揃って上昇

同時に公表された10月の全産業活動指数も前月比+0.9%(コンセンサス+0.5%、レンジ▲0.1%~+1.2%)と市場予想を上回った。内訳をみると、第3次産業活動指数(寄与度+0.8ポイント)に加え、鉱工業生産指数(同+0.1ポイント)も上昇に寄与している。鉱工業生産指数は、11、12月に高い伸びが予想見されていることから、11月以降の全産業活動指数は鉱工業生産指数による押し上げが期待できよう。

○ 全産業活動指数を10月の対7-9月期比でみると+1.0%

全産業活動指数を10月の対7-9月期比でみると+1.0%と10-12月期は好調なスタートとなった。先行きについても第3次産業活動指数の改善傾向や前述の生産の強さなどを勘案すれば、10-12月期の全産業活動指数は4半期連続で増加する可能性が高い。来月以降の全産業活動指数の増加がどれくらいになるかが、踊り場脱却後の景気回復の強さを判断する上での一つのポイントとなるだろう。

